

理学・作業名古屋専門学校  
 【理学療法学科Ⅰ】 【作業療法学科】  
 — 令和1年度 事業報告 —

1. 概要

(1) 学生数

	令和2年度	平成31年度
新入生～4年生 在籍者数（休学者含む）	197名（休学者6名を含む） 理学療法学科 133名 作業療法学科 64名	215名（休学者8名を含む） 理学療法学科 140名 作業療法学科 75名
新入生	43名 理学療法学科 33名 作業療法学科 10名	56名 理学療法学科 40名 作業療法学科 16名

(2) 主な学事及び国試対策

就職ガイダンス（4年生）	4月に実施
保護者会（1～4年生）	1年生保護者会 5月、2年・3年生保護者会 7月、4年生保護者会 8月に実施
セミナー（1年生）	9月実施
実習指導者会議（年2回）	評価・見学実習指導者会議 11月、総合実習指導者会議 3月に実施
臨床実習（2～4年生）	4年生対象の総合実習、3年生対象の評価実習、2年生対象の見学実習を実施
海南医学院短期留学	10月下旬～11月上旬（7日間）
国家試験対策	総合実習終了後 10月より教員全身体制でスケジュール通り実施

※ 令和2年度の海南医学院短期留学については、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。

2. 教職員確保と育成について

令和1年度では、理学療法学科専任教員6名、作業療法学科専任教員6名、大学併修科目担当教員4名、事務職員（実習就職担当を含めて）6名で、理学療法学科・作業療法学科両学科において規定通りの教員数を確保できた。全ての教員について、国試対策模擬授業をはじめ本校メソッドを徹底するために教員研修、授業見学、授業準備などを例年通り実施した。

3. 入学課との連携について

昨年度と同様に、入学課と連携して、体験授業、ガイダンスなどを積極的に行った。なお体験授業については、本校メソッドである双方向性参加型の分かりやすい内容とし、理学療法領域と作業療法領域の授業を交互に開催する中で、スペシャルデイとしてランチタイムのある体験授業を実施した。最新機器を使用した体験授業では、参加学生より「良かった」「分かりやすかった」さらに保護者の方からも良い評価を頂いたが、作業療法学科においては入学者増になかなか結び付かなかった。作業療法学科においても新たに導入した器機を使用し引き続き、作業療法の魅力を訴え、作業療法学科の入学者に結びつけていきたい。

#### 4. 国家試験について

令和2年2月23日に実施された第54回国家試験合格率の全国平均は、理学療法士86.4%、作業療法士87.3%であった。本校学生の国家試験の合格率は以下の通りである。

現役生（第15期生）					
理学療法学科	受験者数	26名	合格者数	23名	合格率 88.5%
作業療法学科	受験者数	14名	合格者数	14名	合格率 100.0%
既卒生不合格者					
理学療法学科	受験者数	7名	合格者数	3名	合格率 42.9%
作業療法学科	受験者数	9名	合格者数	4名	合格率 44.4%

昨年同様の国試対策時間割（12月より夜間帯の授業、1月からは土曜・祝日の授業、2月からは日曜日の授業も開校）を設定したが、理学療法学科、作業療法学科両学科において、全国平均を上回り、作業療法学科については全員合格という結果となった。昨年度と比較し、出席の管理を徹底し、本校メソッドを中心に対策授業を教職員一丸となり実施した結果であると考えられる。さらに既卒生不合格者においては、学校へ登校し国家試験勉強に励んだものが合格した。

今後も本校メソッドを徹底し、国家試験模擬授業による教員研修を適宜実施し、両学科とも国家試験100%合格を目指す。

#### 5. 臨床実習について

各実習については以下のとおり実施した。

- (1) 2年生 理学療法学科 (31名) 見学実習 45時間×1回 (2~3月)
- 作業療法学科 (14名) 見学実習 45時間×1回 (2~3月)
- (2) 3年生 理学療法学科 (28名) 評価実習 270時間×1回 (1~3月)
- 作業療法学科 (18名) 評価実習 270時間×1回 (1~3月)
- (3) 4年生 理学療法学科 (29名) 総合実習 315時間×2回 (5~9月)
- 作業療法学科 (15名) 総合実習 315時間×2回 (5~9月)

	学科・学年	単位取得	不合格 (留年)	中断 (留年)	中断 (転籍)	中断 (退学)
見学実習	PT2年	31				
	OT2年	14				
評価実習	PT3年	27			1	
	OT3年	18				
総合実習	PT4年	28			1	
	OT4年	14		1		

実習中断学生3名の要因としては、臨床実習において症例レポート・課題が書けないなど自分を追い詰めてしまい、精神的ストレスなどにより実習継続が不可能となった。昨年度と比較して、中断学生は減少していた。これは実習事前指導において、レポートのまとめ方、患者様への接し方などOSCE

(客観的臨床能力試験)を中心に反復練習をした結果であると考える。

実習中断学生3名中2名は、併修校である就職率の高い東京福祉大学の卒業を希望し、丸の内校へ転籍することとなり、1名は同学科へ復学することとなった。

## 6. 就職について

令和1年度卒業生の国家試験合格者の就職率は100%であった。求人状況及び就職状況については、以下のとおりである。ここ数年、臨床現場では作業療法士の人材不足が生じている。具体的な求人情報を入学課と共有し、今後は作業療法士希望学生の入学に繋げていく。

### (1) 令和元年度求人票受理件数 763 件 (前年度受理件数 797 件)

[内訳]

#### ・職種別

理学療法士 646 件 (2,873 人)、作業療法士 655 件(2,910 人)

#### ・施設種別

病院・医院 507 件、介護老人保健施設 58 件、法人一括 107 件、その他 91 件

#### ・地域別

愛知県 167 件、岐阜県 37 件、三重県 33 件、静岡県 38 件、その他 488 件

### (2) 就職率 (令和2年3月31日現在)

[内訳]

#### ・理学療法学科 I 100% (国家試験合格者 23 名)

病院・クリニック 16 名、法人一括 1 名、介護老人保健施設 2 名、公務員 1 名  
その他 3 名

(PT 国家試験不合格者の 3 名全員が来年度の国家試験を再挑戦予定)

#### ・作業療法学科 100% (国家試験合格者 14 名)

病院・クリニック 12 名、法人一括 1 名、公務員 1 名

## 7. 海南医学院短期留学について

第8回海南医学院短期留学について、令和1年10月27日(日)から11月2日(土)の7日間、中国海南島海口市にある海南医学院に短期留学を実施した。参加者は、学生12名(理学療法学科1年生12名)と教職員3名、カメラマン2名の総勢17名であった。

海南医学院は献体標本が充実しており、解剖実習では実際に献体を手で触れることができ、骨、筋、神経など解剖・生理学に関して理解を深めることができたとの感想があった。今までと同様、海南医学院の教授や卒業生の方々のご熱心な対応により、解剖実習以外にも、臨床外来見学、海南医学生との交流、キャンパス見学、医療系以外の大学見学、海口市内と上海市内観光およびショッピング、プロモーションビデオ制作など、大変有意義なものであった。他校にはない本校独自のイベントであり、今後も継続すべきものとするが、令和2年度は新型コロナの影響もあり中止せざるを得ない状況にある。

## 8. セミナー実施について

クラス内の交流を深めると同時に、医療人に求められる大切なマナーを身につける、社会的な教養を学ぶことを目的として、1年生(令和1年9月19日実施)を対象にセミナーを実施した(受講者学

生 44 名 (PT27、OT17)。

セミナーの内容は、理学・作業名古屋専門学校において医療系接客マナー、名鉄ニューグランドホテルではテーブルマナー、劇団四季の観劇を通して公共の場でのマナー等の体験学習を行なった。

セミナー受講後の学生からは、TPO に合わせた社会人としての言葉遣いや礼儀を参加型の講義でわかりやすく学べた、美味しい食事をとりながらみんなと楽しくテーブルマナーを学べた、とのことであった。さらに観劇では、勇気をもらえる内容で自分も努力しようと思った、また、周りに迷惑をかけないようにするといった公共の場でのマナーをしっかりと学ぶ事ができた、今回のセミナーは良い経験になった、などの感想があった。

## 9. 学校評価委員会・教育課程編成委員会について

学校関係者評価委員会を開催し(1回)、職業実践専門課程の認定校にて義務付けられている、学校関係者評価および学校自己評価の検討を行い、本校の教育活動等の成果を検証した。その結果を『学校関係者評価及び自己評価報告書～平成30年度～』としてまとめ、ホームページに公表した。

また、教育課程編成委員会を開催し(2回)、見識のある学内外の委員との情報交換を通して得られた様々な知見を現行のカリキュラムの他、令和2年度入学生からの改正カリキュラムについて報告し意見交換した。改正カリキュラムについては、私学振興室からは承認され、愛知県医務課からは4月2日に承認申請の許可が下りた。

## 10. 学習環境の整備について

令和2年度より教育上必要備品については、床反力計、呼気ガス測定器、吸引訓練器機、体圧測定器、痰吸引練習機器、作業療法検査機器などを揃え、令和2年度よりの実技授業で利用し、さらに体験入学などに活用しようと考えている。

また、開校時より使用していた学生の机と椅子をキャスター付きの机と椅子に全て一新し、学生の学習環境を整えた。さらに入試、体験入学、保護者会、指導者会議などの会場である3階講堂の床ワックスの剥離と再ワックスを実施した。

以上